



# 三菱電機パッケージエアコン 4方向カセットEタイプ用 ワイヤレスリモコンキット 形名: PAR-SK2TA(操作部+受光部キット) 据付工事説明書

この据付工事説明書は三菱電機パッケージエアコン4方向カセットEタイプ用ワイヤレスリモコンキットの据付工事について記載しております。よくお読みの上、正しく据付けてください。本文中にスリムエアコン・マルチエアコンの表記がありますがスリムKはマルチエアコンに含まれます。マルチエアコンの記載内容を参照してください。

## 1 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
  - ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
  - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。
- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

**注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

## 警告

- 改造は、絶対にしない。**
- 修理は、お買上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。
- お客様自身で移動・再据付けはしない。**
- お客様自身で不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。
- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。**
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。**
- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。
- 配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。**
- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従い確実に行う。**
- 据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。**
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。

## 注意

- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。**
- 万一ガスがユニットの周囲にたまる、発火・爆発の原因になります。
- 濡れた手でボタンを操作しない。**
- 感電・故障の原因になります。
- ボタンを先のとがった物で押さない。**
- 感電・故障の原因になります。
- 次の場所への据付けは、避ける。**
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところ
  - 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生するところ
  - 機械油を使用するところ
  - 車両・船舶などを修繕するものへの設置
  - 高周波発生する機械を使用するところ
  - 化粧品・特殊なスプレーを頻りに使用するところ
  - 浜浜地区等塩分の多いところ
  - 積雪の多いところ
  - 性能を著しく低下させたたり、部品が破損したりする原因になります。
- 電源配線は、張力が掛からないように配線工事をする。**
- 断線したり、発熱・火災等の原因になります。
- 病院・通信事務所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。**
- ファンパター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。
- 浴室・厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。**
- 壁が結露するような場所は避けてください。感電・故障の原因になります。
- 基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。**
- 火災・故障の原因になります。
- 本製品を水洗いしない。**
- 感電・故障の原因になります。
- 本製品を取付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。**
- 変形・故障の原因になります。
- AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。**
- 破壊・発火・火災の原因になります。
- 製品の運搬・据付けは十分注意して行う。**
- 原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手で製品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

## 2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

品名	① ワイヤレスリモコン受光部	② ワイヤレスリモコン操作部	③ リモコンホルダー	④ 単4形乾電池	⑤ タッピンネジ
個数	1	1	1	2	2
形状					

## 3 取付方法

### 1. ワイヤレスリモコン受光部取付前の準備

- ※作業前に必ず元電源を切ってください。
- 吸込グリルを開き冷媒配管部（現地配線取入部）コーナーと対角線のコーナーパネルを外します。  
※取外したコーナーパネルは廃棄してください。  
※コーナーパネル固定ネジは、ワイヤレスリモコン受光部取付時に流用します。  
※化粧パネルの据付中に作業する場合は、化粧パネルの配線接続完了後に下記作業をしてください。
  - 電気品カバーを固定しているネジ2本をゆるめ、電気品カバーをスライドさせて取外します。（仮掛け可能）
- 

### 2. ワイヤレスリモコン受光部の取付

- ① 取外したコーナーパネルの部分の化粧パネルのコーナー部の角穴からワイヤレスリモコン受光部のケーブルを引き出します。
  - ② 下図のようにケーブルをユニット本体の引っ掛け部（2ヶ所）と電気品箱内に通し、コネクタを制御基板のON/Oに接続します。再度、コーナーパネルが取外せる程度にケーブルの長さを調整し、ケーブルバンドで固定します。
  - ③ ワイヤレスリモコン受光部のコーナーパネルを下図のように矢印④の方向にスライドし、コーナー部のネジを固定します。（ネジは化粧パネルのコーナーパネル固定ネジを流用します）
- 
- ④ワイヤレスリモコン受光部の取付完了後、ユニット本体の電気品カバーをもとどりに取付けます。

## 3. リモコンホルダー

- リモコンホルダーを付属しております。紛失などを防ぐためにご使用ください。
  - ワイヤレスリモコンは下記の場所に取付けてください。
    - 直射日光の当たらない場所
    - 近くに熱源のない場所
    - ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
    - リモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
    - 幼児の手が届かない場所
- ワイヤレスリモコンの取付けは、付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後、ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。
- 

### 【お願い】

- ※室内に蛍光灯が取付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内ユニットが信号を受信することを確認してください。室内ユニットが信号を受信すると「ヒュー」と音がでます。
- ※電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受付けられない場合があります。
- ※受光距離は、直線約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。※テレビ・ラジオより1m以上離れた場所から操作してください。（画像の乱れや、雑音が生じることがあります）

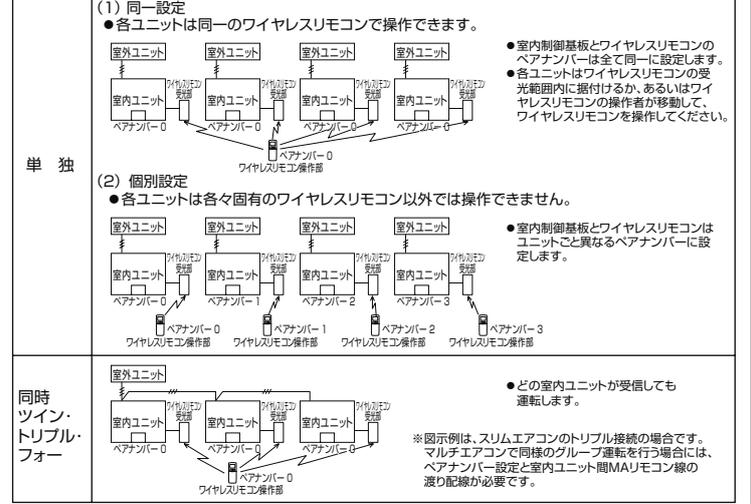
## 4 ペアナンバー設定方法

- ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。
  - 特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。（工場出荷時は室内ユニット側（受光部側）およびワイヤレスリモコン側のペアナンバーは「0」となっています）
  - 指定が必要な場合は、室内ユニット側（受光部側）の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。
- | ワイヤレスリモコンペアナンバー設定 | 室内ユニット側設定<br>室内制御基板のペアナンバー（J41、J42）を切り換えます |
|-------------------|--|
| 0                 | 切断せず                                       |
| 1                 | J41のみ切断                                    |
| 2                 | J42のみ切断                                    |
| 3                 |  |
| 4                 |  |
| 5                 |  |
| 6                 | J41とJ42を切断                                 |
| 7                 |  |
| 8                 |  |
| 9                 |  |

### 【ワイヤレスリモコンペアナンバー設定操作】

- （工場出荷時は「無し」[No. 0]）
- ① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
    - 「設定」が点滅します。
  - ② 「分」ボタンを2回連続押してください。
    - ペアナンバーが点滅します。
  - ③ 「0」ボタンを押して、ペアナンバーを設定してください。
    - ※操作を間違えた場合は、「No」ボタンを押し、②の操作からやり直してください。
  - ④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
    - ペアナンバーが3秒間点灯してから消えます。
- 

## ●設定例

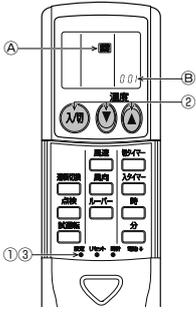


## 5 風速自動設定方法

- 本設定を行うことにより、ワイヤレスリモコンから風速自動が選択可能になります。
- （工場出荷時は「なし」[設定番号 01]）
- ① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
    - 「設定」が点滅します。
  - ② 「設定」ボタンを押してください。
    - 「設定」と「風速」が点滅します。
  - ③ 「0」ボタンを押して、No.を設定してください。
 

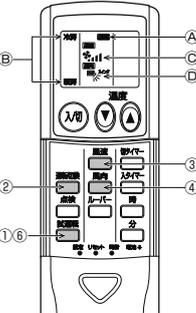
風速自動表示	設定番号
なし	01
風速自動モードあり(*)	02
- ※操作を間違えた場合は、「No」ボタンを押し、②の操作からやり直してください。
- ④ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
  - 「設定」と「風速」が3秒間点灯してから消えます。
 \*注：機種によっては「風速自動」設定がない場合があります。
-

## 6 冷暖/冷房専用設定方法



- (工場出荷時は機種No. '001')
- ① ボールペンなど先の細いもので(設定)ボタンを押してください。  
② **設定** が点滅し、③機種設定No. 001 が点灯します。
  - ③ **温度** ボタンを押して、No.を設定してください。
- |          |  |                   |
|----------|--|-------------------|
| 機種No.    | 冷暖<br>冷房/ドライ/自動(送風/運風)<br>(冷房/ドライ/送風/運風) | 冷房専用<br>冷房/ドライ/送風 |
| 001(225) |  | 033               |
- ※操作を間違えた場合は、**入切** ボタンを押し、②の操作をやり直してください。
- ③ ボールペンなど先の細いもので(設定)ボタンを押してください。  
④ **設定** と ③機種設定No.が3秒間点灯してから消えます。

## 7 試運転方法



- ① **試運転** ボタンを2回連続で押してください。  
② **試運転** および運転内容が点灯し、試運転が開始されます。
- ③ **運転切替** ボタンを押してください。  
④ 運転モードが切り換わります。冷房や暖房。  
冷房/冷風の吹出しを確認してください。  
暖房/温風の吹出しを確認してください。
- ⑤ **風速** ボタンを押してください。  
⑥ 風速が切り換わります。  
風速が変化することを確認してください。
- ⑦ **風向** ボタンを押してください。  
⑧ 上下風向表示が切り換わります。  
上下バーンの動作を確認してください。
- ⑨ 室外ユニットのファンの運転を確認してください。  
室外ユニットは、ファンの回転数をコントロール(能力制御)をしています。  
そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。したがって、そのときの外風によりファンが停止または逆回転となることがありますが、異常ではありません。
- ⑩ **試運転** ボタンを2回連続で押してください。  
⑪ **試運転** および運転内容が消灯し、試運転が終了します。

- 試運転は、2時間の切タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。
- 同時ツイントリプルフォの場合は、全ての室内ユニットが確実に運転することを確認してください。誤配線等でも異常表示しない場合があります。

## 8 ユニットの機能選択

本設定はスリムエアコンの場合の設定方法です。マルチエアコンの場合は、室内および室外制御基板上のディスプレイ等で設定を行います。ディスプレイの設定方法はマルチエアコン(スリムKを含む)の技術資料等を参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。表1より機能選択が必要な項目を選択してください。なお、ワイヤレスリモコンからはワイヤレス機種が接続された冷暖系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコンでは冷房アドレス指定はできません。

表1 機能選択内容(各室内ユニットの出時設定内容、モードについての詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください)

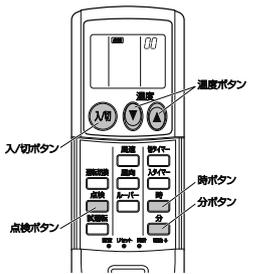
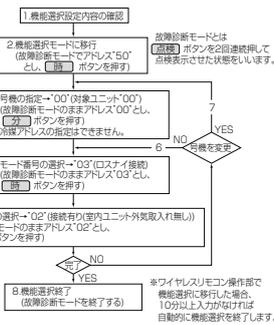
設定項目	設定内容	モード番号	設定番号	ファン種	対応機種の設定
停電自動復帰	なし	01	01		'00'号機
あり		02	02		
室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	02	01		
室内ユニット固定(本設定を受けた室内ユニット室温検知に固定)		02	02		
ロスナイ接続	接続なし	03	01		
接続あり(室内ユニット外気取入れなし)		03	02		
接続あり(室内ユニット外気取入れあり)		03	03		
フィルターサイン表示	ファン運転積算100時間	07	01		'01'~'04'号機
ファン運転積算2500時間		07	02		
表示なし		07	03		⇒設定した対象号機No.を指定
風量	標準	08	01		または'07'
静音		08	02		⇒全号機に対し同じ設定をする場合
静音	高天井	08	03		
吹出し口数	4方向	09	01		
3方向*2		09	02		
2方向*2		09	03		
オプション相込み(高性能フィルター)	なし	10	01		
あり		10	02		
上下バーン設定	第3設定(やや下吹き角度)	11	01		
第1設定(標準角度)		11	02		
第2設定(やや上吹き角度)		11	03		
ムーブアイ取付け位置	取付け位置①*	12	01		
	取付け位置②*	12	02		
	標準取付け位置*	12	03		
加湿器相込み	なし	13	01		
あり		13	02		

- \*1 ムーブアイセンサー(パネル)と同様の説明書を参照してください。
- \*2 ドラフトセーブが使用不可になります。

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表中のチェック欄に○印等で記入してください。

### 機能選択の流れ

まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは、【表1】の「ロスナイ接続」を「接続有り(室内ユニット外気取入れ無し)」の設定を例に説明します。実際の操作については下記操作手順をご覧ください。



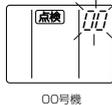
### 操作手順

- 機能選択の設定内容を確認してください。  
機能選択にて設定内容を変更した場合、そのモードの設定内容が変わります。2~8に従い現在の設定内容を確認し、【表1】のチェック欄に記入のうえ、設定を変更してください。
- 設定** ボタンを2回連続で押します。  
(リモコン表示が停止の状態から操作してください)  
→ **設定** が点灯表示し'00'が点滅表示します。  
① 温度ボタンを1回押して'50'に合わせます。  
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **設定** ボタンを押します。



③室内ユニットの号機を合わせます。

- ④ ① 温度ボタンを押して室内ユニットの号機に合わせます。  
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **分** ボタンを押します。  
(**分** ボタンにて号機を入力することにより、設定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのかわからない場合はこれにより確認してください。なお、号機が'00'/'07'(室内ユニットの据付工事説明書のAL号機と同じ意味付となります)の場合は同一冷暖の全室内ユニットが送風運転します。)
- ※設定できない号機を入力した場合は、ブザー音「ピーピー」(0.4秒+0.4秒+0.4秒)が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度号機を入力し直してください。
- ※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、ブザー音「ビビ」出力)、再度号機を入力し直してください。



00号機

⑤モード番号の選択

- ④ ① 温度ボタンを押して設定したいモード番号に合わせます。  
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **設定** ボタンを押します。  
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する現在設定値を出力します。 出力は現在設定値→1-ピーピー(1秒)×1回  
2-ピーピー(1秒)×2回  
3-ピーピー(1秒)×3回



モード番号 03 ロスナイ接続

- ※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音「ピーピー」(0.4秒+0.4秒+0.4秒)が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度モード番号を入力し直してください。
- ※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音「ビビ」出力)は、再度モード番号を入力し直してください。

⑥選択したモードの設定番号を入力します。

- ④ ① 温度ボタンを押して設定番号を選択します。  
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら **設定** ボタンを押します。  
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。 設定番号=1-ピーピー(0.4秒+0.4秒)×1回  
2-ピーピー(0.4秒+0.4秒)×2回  
3-ピーピー(0.4秒+0.4秒)×3回



設定番号 02 接続有り(室内ユニット外気取入れ無し)

- ※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
- ※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音「ビビ」出力)は、再度設定番号を入力し直してください。
- ⑥室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモードを設定する場合は④、⑤を繰り返してください。
- ⑦室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は④~⑥を繰り返してください。

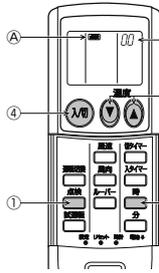
⑧機能選択を終了します。

- ⑧ **設定** ボタンを押します。  
機能選択終了後、30秒間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

【お願い】

工事完了後、機能選択により室内ユニット機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を表1のチェック欄に○印等で記入してください。

## 9 自己診断

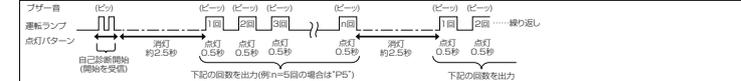


- ① **点検** ボタンを2回連続で押してください。  
② **点検** が点灯し、③ 冷房アドレス(M-NETアドレス)が点滅します。  
※アドレス表示は、スリムエアコンの場合は冷房アドレス、マルチエアコンの場合はM-NETアドレスとなります。
- ③ **温度** ボタンを押して、自己診断を行う室内ユニットの冷房アドレス(M-NETアドレス)に④の表示を合わせてください。  
※冷房アドレスの設定は室外ユニットのスイッチ(SW1)にて行います。  
詳細は室外ユニットの据付工事説明書をご覧ください。
- ④ **設定** ボタンを押してください。  
異常がある場合、室内ユニットからブザーの断続音、運転ランプの点滅により、点検コードを出力します。
- ⑤ **設定** ボタンを押してください。  
⑥ **点検** と ⑤ 冷房アドレス(M-NETアドレス)が消灯し、自己診断モードが終了します。

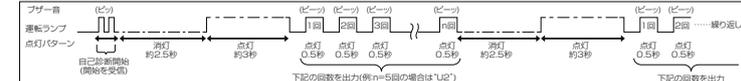
### ●点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

スリムエアコンまたはマルチエアコンで受光アダプタ(MAタイプ)以外を使用時の場合

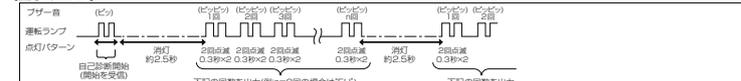
【出力パターンA】



【出力パターンB】



【出力パターンC】



### ●スリムエアコン(スリムKは除く)の出力内容

【出力パターンA】室内ユニットが検出する異常

ブザー音 回数	運転ランプ点検回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	P1		電圧センサー異常	
2回	P2, P9		配線(送風または二相)センサー異常	
3回	E6, E7		室内ユニット-室内ユニット間の通信異常	
4回	P4		ドレンセンサー異常、ドレンフロートスイッチコネクタ外れ	
5回	P5		ドレンオーバーフロー保護動作	
6回	P6		圧力センサー異常(圧力センサー異常)	
7回	EE		組み合わさず異常(システム異常)	
8回	P8		配管温度異常	
9回	E4		ワイヤレスリモコン-室内ユニット間の通信異常	
10回		Fb	室内ファンモーター異常	
12回		Fb	室内制御系異常(スモーク異常、その他)	
14回		FL	冷房回路異常	

【出力パターンB】室内ユニット以外(室外ユニット、その他)が検出する異常

ブザー音 回数	運転ランプ点検回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	E9		室内ユニット-室外ユニット間の通信異常	
2回	UP		過電流運転	
3回	U3, U4		室外サーモスタ異常	詳細は室外基板のLED表示を確認してください。
4回	UF		圧縮機過電流運転(ロック)異常	
5回	U2		圧力センサー異常(圧力センサー異常)	
6回	U1, Ud		高圧圧力異常(B3圧力異常)/過電流運転(過電流異常)	
7回	U5		放熱器温度異常	
8回	U8		室外ファン保護停止	
9回	U9		圧縮機過電流運転(過電流)/パワーモジュール異常	
10回	U7		室外サーモスタ異常	
11回	U9, UH		電圧異常/電圧センサー異常	
12回				
13回				
14回			その他(室外基板LEDを確認してください)	

【出力パターンC】室内ユニットの別売部品関連の異常

ブザー音 回数	運転ランプ点検回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	FD		ダストボックス外れ検出、フィルタ検出異常、中継コネクタ外れ(フィルタ自動清掃ユニット)	
2回	FH		オプション出力回路異常(フィルタ自動清掃ユニット)	
9回	EH		パネル通信異常(フィルタ自動清掃/自動清掃ユニット)	

### ●マルチエアコン(スリムKを含む)の出力内容

【出力パターンA】異常ユニット(属性)が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニットの場合

【出力パターンB】異常ユニット(属性)が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニット以外(室外ユニット、その他)の場合

ブザー音 回数	運転ランプ点検回数	M-NET	点検コード	備考
1回	1000~1999			
2回	2000~2999			
3回	3000~3999			
4回	4000~4999			
5回	5000~5999			
6回	6000~6999			
7回	7000~7999			
8回	0~999			

ワイヤレスリモコン、システムコントロールを併用されていない場合、異常履歴の点検コード詳細は、室外基板のLED表示にて確認することができます。  
室外ユニットの異常履歴確認方法は、室外ユニットのサービスハンドブックを参照してください。

- \*1. 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
- \*2. 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力(ピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒))の場合は、冷房アドレス(M-NETアドレス)の指定が間違っています。